



三種町

# 議会だより

平成27年  
1月30日 発行

第36号

「三種町新年書き初め大会」



## もくじ

議長年頭所感	2
補正予算の内容、議案一覧	3
議案審議、議案採決結果	4
一般質問（8人が登壇）	5～12
所管事務調査報告	13
請願・陳情	14
臨時会、研修報告	15
三種の星、編集後記	16

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>



年頭所感



三種町議会議長 金子芳継

町民の皆様には、希望に満ちた初春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、町政の発展と議会運営に対しご理解とご協力をいただき深く感謝を申し上げます。

さて、「一陽来復」いちようらいふく 景気はこれから回復過程に向かうと期待するものの、世界経済の動向や内外の環境条件の厳しさを考えますと低成長は避けられないと思います。

我が町の基幹産業である農業は、米価の下落や就労者の高齢化など、さまざまな課題に直面し、今まさにまちづくりの在り方が大きく問われております。

こうした厳しい環境を乗り越え、夢と希望のあるまちづくりを進めていくためには、

時代を見据えた情報分析に力点をおき、町執行部と知恵を出し合い町民の皆様のご協力をいただきながら、子や孫に誇れるまちづくりを展開して行かなければなりません。議会議員一同、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに取組んで参る所存です。

今年の干支「未」みづひは、草木の果実がいよいよ熟し、ちょうど滋養溢れた状態になることをあらわし、また大勢で群れをなす「羊」は家族の安泰と平和の象徴であると言われます。

今年には合併十年目、節目の年でもあり町民の皆様と共に本町の大きな躍進を心から祈念申し上げます、新年の挨拶とします。

本年もよろしく  
お願い申し上げます

三種町議会

- 議長 金子芳継
- 副議長 加藤彦次郎
- 議員 大澤和雄
- 宮田幹保
- 安藤賢藏
- 三浦敦
- 清水欣也
- 工藤秀明
- 高橋満
- 石井秀基
- 鈴木一幸
- 小澤高道
- 成田光一
- 後藤栄美子
- 堺谷直樹
- 伊藤千作
- 平賀真
- 児玉信長



(議席順)

# 大相撲三種場所、開催決定!!

## 平成26年 12月定例会補正予算の内容

会計名	補正前の予算総額	追加補正額	補正後の予算総額
●一般会計	106億1,367万2千円	2億9,460万5千円	109億 827万7千円
【主な歳出】			
事業内容	事業費	財源	
放課後児童クラブの移設の工事費（浜口・湖北小学校）	702万 円	一般財源のみ	
農林課・農業委員会・農業公社合同入居のため農業センター改修工事費	300万 円	一般財源のみ	
米価の下落による小作料助成	5,500万 円	一般財源のみ	
ゆうばる宿泊棟の備品費	1,327万4千円	一般財源のみ	
台湾との商工観光交流事業調査費	135万 円	一般財源のみ	
小学校教科改定指導書等の購入	1,186万 円	一般財源のみ	
大相撲三種場所実行委員会補助金	250万 円	一般財源のみ	
農業用施設災害復旧費 ため池（小金畑・清吉根小屋沢）、橋梁（下熊沢） 林道施設災害復旧費 羽根川支1号線・井戸下田線	8,348万1千円	県支出金 4,096万4千円 町 債 830万 円 一般財源 3,421万7千円	

### ●特別会計

会計名	補正前の予算総額	追加補正額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	26億5,005万2千円	3,663万5千円	26億8,668万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億7,404万3千円	199万 円	1億7,603万3千円
公共下水道事業特別会計	6億1,006万3千円	15万 円	6億1,021万3千円
介護保険事業勘定特別会計	28億1,115万8千円	2,202万2千円	28億3,318万 円

報告 すること	諮問	選任	条例制定・改正						平成26年度予算						区分	審議された議案一覧
			国民健康保険条例の一部改正	行政手続条例等の一部改正	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定	地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の制定	介護保険事業勘定特別会計予算の補正	農業集落排水事業特別会計予算の補正	公共下水道事業特別会計予算の補正	後期高齢者医療特別会計予算の補正	国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正	一般会計予算の補正				
専決処分報告（公用車接 触事故に係る損害賠償に関 すること）	16	1	16	9	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	賛成	採決
	0	15	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対	状況
報告	可決	否決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果	

※議長は採決に加わりません。  
※12月12日は1人欠席のため、全議案の採決  
総数は16人になっています。

# 議案審議

## 一般会計予算の補正

**問** 米価下落による影響は、自作小作を問わず米販売農家全体に及んでいる。にもかかわらず、米価下落緊急対策小作料補助金は、小作農家だけを対象にしており、極めて不公平なものとなっている。また、補助の目的も、小作料を助成することによって農地集積と耕作放棄地の防止が図られるとしているが、小作の実態からかけ離れた極めて根拠の薄い補助理由である。米価下落に伴う農家救済を前提にしているのだから、販売農家全体を支援するものでなければならぬと思うが。

**答** この補助金の趣旨は、26年産米の価格が大幅に下落したことにより、農家が農業経営に多大な影響を受けており、当町で進めている担い手農家への農地集積と不作地拡大防止に影響することが懸念されることから、緊急対策として小作料の一部に対し助成するものである。

**問** 敬老式への出席率が13パーセントと低いその原因は何か。また対策などあるか。

**答** 初敬老といわれる70歳の出席率が一番低いのは、「まだまだ大丈夫である」という意識の表れかとも思われる。関係者から話を聞きながら内容の充実、多くの方に参加していた、たく方策を検討したい。

**問** 放課後児童クラブについて、小学校の空き教室を使用する鶴川児童館、浜口児童館の移転は児童の安全面からも喜ばしいと思う。施設利用の詳細は。

**答** 学校側の協力もあり、体育館など学校施設の利用についても日程の調整をはかりながら進めていきたい。開設時間は従来どおり午後1時から7時までである。

## 山本健康保養センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正

**問** 宿泊料の上限額を改正するとうことだが、内容は部屋別料金も改正する内容になっている。どちらも改正するのか。

**答** 上限の改正であり、部屋別料金は参考までのものである。

**問** 通常の宿泊料を設定しないで、上限の料金を設定するのはなぜか。また、民間の宿泊施設に準じたこの理由は。

**答** この施設は指定管理者制度をとっており、料金については承認利用料金制になっている。上限を議会で定めていただき、議決後に指定管理者が町長の承認を得て料金を定めることになる。民業圧迫にならないよう民間料金に準じたものである。

## ゆうぱるの宿泊料金についての討論

### ◇反対討論

**堺谷直樹議員** 全員協議会で示されたアンケートの結果では千円以上の値上げであれば利用しないという回答がほとんどであった。にもかかわらず値上げするのは納得できない。また値上げにより宿泊客が半減すると想定している点にも問題がある。よって反対である。

### ◇賛成討論

**平賀 真議員** この改正案については、全員協議会等で、料金の設定については民間の料金を配慮するという説明が当局からなされており、ゆうぱるの改修工事が認められたのも、議会でその方針が認識されていたからであると認識している。よって賛成である。

## 議案採決結果

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	結果
議案名	大澤和雄	宮田幹保	安藤賢藏	三浦敦	清水欣也	工藤秀明	高橋満	石井秀基	鈴木一幸	小澤高道	成田光一	加藤彦次郎	後藤栄美子	堺谷直樹	伊藤千作	平賀真	児玉信長	可決
山本健康保養センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正	○	○	○	●	○	●	●	○	●	欠	○	○	●	●	○	○	●	可決

※採決の際に賛否が分かれた議案を掲載しています。  
 ※議長は採決に加わりません。



# 町職員による物損事故の再発防止を

## 町長 再発防止に向けた取り組みを強化する



堀谷 直樹 議員

**堀谷** 最近、物損事故が多発しているのですが、今後、再発防止を徹底させるとのことだが、具体的な取り組み内容を尋ねる。

**町長** 職員の安全意識の共有と醸成を図る観点から、毎月一度、公用車の一斉点検を各課職員が行っている。交通法規の遵守、路面・気象条件に応じた安全運転の励行を庁内の情報伝達システムを通じ、全職員に周知しているが、非常に残念なことに事故が発生している。今後、取り組みを強化し、さらなる再発防止に努める。

**堀谷** 2カ月前、町道の舗装にあいた穴にミニバイクの前輪を落とし転倒する事案があったが表に出ていない。こういう事故

も含めると相当数あると推測される。事故の経験則のひとつにインリッヒの法則があるが、これは1件の重大な事故の背景には29件の軽微な事故があり、そのまた背景には300件ものヒヤリ・ハットがあるというものである。予測不能な場合もあるが、1件の重大な事故が起きる前にパトロール体制の見直しなどは正の余地があると思う。

**建設課長** 今後も引き続きパトロール等を徹底して、道路の安全管理に努めていく。

**スポ少や中学校部活動費に助成を**  
**教育長** 関係者との話し合いが必要

**堀谷** 我が町のスポ少や中学校部活動の活躍は目覚ましいものがあるが、保護者は活動費の負担で苦労している。ユニフォームや応援Tシャツに町の特産品をワンポイントに入れても

らうことで、町から費用の一部を助成できないか。また、町外への練習試合時に保護者が交替で送迎しているが、スクールバスを利用できないか。とりわけ幼い弟妹がいる保護者は大変苦労している。

**教育長** 大変優秀な成績の報告を受けるたび、指導者、保護者に心から賛辞を送っている。上位大会へ上り詰めるには、それなりの経費がかさむことも承知している。全県大会以上の場合には派遣費の一部を助成している。また、スポ少へは東北大会以上の場合、10万円を上限に用具等の助成をしているが、ユニホームの場合は基本的には自前である。ワンポイントを入れて町をアピールす

ることは大変良いアイデアであるが、公式試合では認めない競技があるというところ。応援グッズとして考えることはできると思うので、今後関係者と話し合いが必要と思われる。練習試合時のスクールバス送迎は、運行規定から除外されているので、かなり難しいと考える。



全県出場を果たした下小ミニバス女子

# 米価下落緊急対策の拡充を

## 町長 小作料の一部を助成する



大澤 和雄 議員

**大澤** 当町では、米価下落の緊急対策として小作料の一部を助成すること

しているが、これは担い手農家への農地集積や作地の拡大防止に大いに効果があるものと評価するものである。

ただ、このたびの助成の対象とならない農家への支援・対策はどのように考えているか。例えば、仙北市のような独自に概算金への上乘せ等、検討できないか。

**町長** 本町としては、これまで進めている担い手農家への農地集積と不作付地の拡大防止にも大きな影響が出る懸念があることから、平成26年において、小作されている全ての水田に対して、当年限りで小作料の一部助成を実施したいと考えている。

さらに、この対策の対象とならない農家に対しては、県の稲作経営安定緊急対策資金利用者の保証料0.5%に対して町が助成することとした。

### 投票所を増やせ

町長 大変難しい

**大澤** 合併時には29の投票所があったが、現在21投票所となっている。

投票所のなくなった集落の方からは、高齢者が歩いて行けるところに投票所がないので、投票に行かなくなった方もいることから、以前のように集落内に投票所を設置してほしいという要望が強い。

高齢化がますます進むことから、投票率の低下が懸念される。すべて以前と同じように復活させるというのは難しいかもしれないが、再考して設置箇所を増やすべきではないか。

### 町長

合併時には旧町の投票区をそのまま引き

継ぎ29箇所となっていたが、投票区間で有権者数に極端な差があったことや、各地域内の投票所数にばらつきがあったことなどから、これらを是正するために投票区の再編が検討され、総合的に判断のうえ、現行の21箇所となったものである。この件については、選挙

管理委員会のほうで判断される事案であるが、有権者数の減少、投票立会人を含めた投票所の事務従事者の確保も困難となる状況すら想定されることから、投票所の設置箇所を増やすということは大変難しい問題ではないかと考えている。



投票率が過去最低となった衆議院議員選挙

# 国民文化祭での気運を活かせ

## 町長 継続していければよいと考える



石井 秀基 議員

**石井** 先般行われた国民文化祭は町を挙げて行われたが、その実績と決算はどうだったか。また、今後どう生かされていくのか伺う。

**町長** 実績と決算については、まとまり次第報告する。

今後の取り組みとしては、キルトは、パッチワーク綴帳を中心にPRできたことから、さらに情報発信できるように、イベントの開催を考えている。また、森岳歌舞伎は、県内唯一の伝承芸能であり、祭典で交流できた他県の団体との交流や、子供歌舞伎も含めて、森岳歌舞伎の継承発展を図る。



大盛況となったキルトフェスティバルinみなみ

**子供を安全確保するための活動と処置は**  
**町長** 学校、関係団体に連絡して対応している

**石井** 子供が犯罪に巻き込まれる事件が頻繁に報道される。当町の子供たちが犯罪に巻き込まれないための安全確保はどのようにしているか。また、不審者情報の伝達はどのようにしているのか伺う。

**町長** スクールガードや見守り隊等が対応しているほか、子ども110番の家を指定して、駆け込むこと

ができるような体制をとっている。また、不審者情報については、警察からの不審者情報をもとに、連絡が入ることになっており、緊急の場合は学校から保護者に緊急メールを発信することになっている。

**石井** 犯罪抑止力を高めるため、学校や公共施設周辺への防犯カメラの設置や通学路にある自治会、民間店舗などへの防犯カメラの設置に対して補助を行っているかどうか。

**町長** 監視カメラの設置は犯罪抑止にもつながることから、他市町村を参考にしながら検討が必要と考える。

**三種型クアオルトは活性化につながらないのでは**  
**町長** 大きな目で見てつながると思う

**石井** 森岳温泉活性化策として、クアオルト研

究を推進してきたが、ここに来て、町民の健康増進を図る三種型クアオルトに取り組みようとしている。この取り組みがどう森岳温泉の活性化につながるか伺う。

**町長** 県との未来づくり協働プログラムにおいて、成案となった場合には、クアオルト事業により町民の健康増進に取り組み、その実績を情報発信することで町外の方が三種型クアオルトの体験に訪れるという流れができれば森岳温泉の活性化につながると考える。

**石井** 森岳温泉は、温度・質・量とも大変価値がある。この事業とは別に森岳温泉活性化策を講じているかどうか。

**町長** 観光・産業振興につながるようなものと考えている。



# EM菌活用に取り組んでみてはどうか

## 町長 大変素晴らしいことなので検討する



成田 光一 議員

**成田** 三種町総合計画・後期基本計画にごみの減量化、リサイクルの推進とある。現在の状況はどうなっているか。

**町長** 町の広報、チラシやごみの分け方・出し方のブックレット等の配布により、ごみの減量と資源ごみのリサイクル活動の啓蒙を継続している。平成24年度のごみが5千502トンから、翌25年度では5千416トンと減少傾向にある。資源ごみでは逆に396トンから451トンへと増加傾向にある。

**成田** 平成25年度のごみの焼却に掛かった費用はどの位か。

**町長** 平成25年度の南部清掃工場に掛かる広域市町村圏組合の三種町の負

担金は1億840万6千円である。ただし、これには施設の延命工事費7千300万円が含まれている。

**成田** 生ごみの減量化、リサイクルに取り組む方法としてEM菌活用法がある。当町でも取り組むはどうか。

**町長** EM菌は生ごみの減量化と堆肥づくりを始め、水質保全にも活用できるなど、その活用方法は広範囲に亘ることが知られている。そのため、昨年度には町主催によるEMほかにしに掛かる研修会を開催している。

また、今年度も町内で活動している団体に対し講師謝金や材料費の助成を行っている。

**成田** EM活用をサークルで実践しても活動に限界がある。町で取り組めれば町民全体のものになれる。サークルでの活動を当局ではどれだけ把握しているのか。



EM生活クラブによるEM講座

**町民生活課長** 現在町内に2団体ある。今後ともこのような団体と継続した活動の取り組みをしていきたいと考えている。

**成田** これを町として取り組むことが可能なのかどうか。県内でも東成瀬村など実際に取り組んでいる自治体があるので、視察に行くなど調査をしてはどうか。

**町長** 私も講習会に参加をしたことがある。東成瀬村の事例紹介があったが、これは集落の循環型社会の構築であり、里山資本主義的な考え方だと思う。そういう意味では、今ある厄介物を肥料にしながら再利用できるのは大変素晴らしいことなので、ぜひとも町としても検討する。



# 職員研修の実態とその成果を問う

## 町長 積極的な参加を進めて行く



平賀 真 議員

**町長** 市町村長を対象にしたセミナーが年2回、県町村会主催の行政視察1回、特別セミナーが2回ある。

これらの研修を通じ、元気づくり支援事業、クアオルト事業などアイデアをい

**平賀** 町長は就任以来、国の内外を問わず視察研修に赴いているが、町発展にどのように生かされているのか。その具体例を挙げ成果を明示していただきたい。

また、職員研修の実態とその成果が日々の業務にどのように反映されているのか。

さらに資質向上のために「百聞は一見に如かず」という視点で視察研修に十分な予算を付け町発展に繋げていくべきではないか。



町村長海外視察研修（台湾）

ただいている。

職員研修は自治研修所主催事業に計画的に参加させている。また、職員が講師となつて基礎を学びあう職場研修も実施している。

研修や視察は、職員の政策立案能力向上に欠かせないものであり、積極的に参加するように働きかけている。

**副町長** 職員の視察は各課の予算により行わ

れており、それほど多くはない。

**健康は自らが守るべき。検診事業の実態と対策は**

**町長** 受診率が悪い。向上に努力する。

**平賀** さまざまな健康推進事業が実施されているが、受診率に反映されているのか。

未受診者の実情を把握しているのか。

自らの健康は自らが守るといのが基本であるが、町全体で支えていくという認識を高めていくべきではないか。

**町長** 残念ながら受診率向上には繋がっていない。県平均より低く、一層の努力が必要と認識している。

再検査で上限3千円を補助した結果、前年より1割程向上している。

町民の皆様にも、ご自身の健康について、もう少し考えて頂ければとの思いがある。

**健康推進課長** 未受診者一人ひとりの実情は把握していない。

無料クーポン券を発行したが、受診されていない方の状況を調査した結果、仕事が忙しいという理由が一番多かった。

# ジュンサイのメガ団地構想づくりに着手を

## 町長 真剣に取り組む



摘み取り真っ盛りのじゅんさい沼



清水 欣也 議員

**清水** 若い担い手の育成のために、私たちの町にはメガ団地に代表されるような攻めの農業が必要だと思う。その一つとしてジュンサイのメガ団地構想づくりに取り組んでどうか。ジュンサイはこのままだと衰退の一途をたどる。ここで栽培形態の大きな転換を図る必要があると思うが。

### 農業構造をどう転換するか

**町長** 冬期間の野菜栽培施設の町整備を調査中

**町長** ジュンサイのメガ団地は構想としては良い計画だと思う。以前に素波里の水を引いた施設を町で造成したらどうかという議論がされたことがある。いろいろの問題もあるが真剣に取り組んで行きたい。

**清水** 地方創生対策の重要な柱として、農業問題がある。県の農政指針である「第2期秋田農林水産ビジョン」では、米に大きく依存した本県の農業構造を複合生産構造へ転換することを最重要課題のひとつに位置付けたが、町も同じ方向を目指さざるを得ないと思うが。

**町長** 一気に流れを転換するというのは厳しいと思うが、いずれこれからは米一辺倒というのは難しい

いのではないか。現在、冬期間に栽培ができるような施設を町が整備し、それを農家が利用するという形ができないか調査中である。これからは、こういうことに力を入れて行かなければならないという点では議員と同じ認識である。

### 農業夢プラン補助金の拡充を

**町長** 基金の造成と農家の負担割合の軽減を検討する

**清水** 今後の町の農政のあり方が県と同じ方向にあるとすれば、「農業夢プラン補助金」を拡充することが町にとって不可欠な農業施策になると考える。この補助金は利用希望者が多いことから、県の補助対象から外れた希望者に対し町単独で補助する仕組みを作ったかどうか。

**町長** 「農業夢プラン補助金」は、県の事業で町も財源の一部を負担して

いるが、県の採択から外れた農家について、せっかくの意欲をさらに高く持つてもらいために、検討したうえで町単独で基金をつくるということも可能性としては考えられる。

**清水** 「農業夢プラン補助金」の負担割合は、

県が12分の4、町が12分の2、農家が12分の6となっているが、農家が利用しやすくするために、農家の割合を12分の4に下げ、下げた分を町が負担することに、三者が同じ12分の4という負担割合にすべきだと思うが、どうか。

**町長** この場で直ちに答えられないが、意義のある提案なので検討させてもらいたい。

この他に

「ゆめろんの経営状況と人員整理」について質問しました。



# 児童生徒を海外研修へ

## 町長 今後検討する



児玉 信長 議員

**児玉** 本町における全国学力・学習状況調査の結果、全ての教科で全国平均を上回ったが、一部県平均を下回った教科とは何か。

**教育長** 小学校の国語である。

**児玉** 優秀な児童生徒の将来の活躍を期待するとともに、無限の才能を開花させるべきと思うので、町独自で海外研修をさせたらどうか。

**町長** 海外研修は、グローバル化する社会に対し、国際理解を深めていくために有効と考えており、今後検討していきたい。

**児玉** 平成26年度産米の概算金、米の直接支払交付金の大幅減収、その他の農業収入の減収等を考えると、平成26年度の町税は前

**26年度の町税は前年度比15%減と推計**  
**町長** 指摘の額になる見込み



町の将来を担う三種町児童

年度比で15%減の12億円と推計したが。

**町長** 議員が指摘した額に近いものと認識している。

**児玉** 平成26年度の普通地方交付税は50億4千749万円に決定となっているが、まだ交付されていない

特別地方交付税の総額と交付時期はどのようになっていくか。

**町長** 交付決定が3月であり、前年度比約10%減の3億5千万円を見込んでいる。

**児玉** 2期目の選挙公約に5項目を掲げており、これらを実現するとした場合、平成27年度一般会計予算規模はいくらになるのか。

**町長** 平成25年度当初予算と同規模の102億円規模と推計している。

**児玉** 普通建設事業費で大きな事業を3つ挙げるとしたら、どのようなものがあるか。

**町長** ゆめろん改修、千刈田地区と大町地区の町営住宅改修、粉殻暗渠・区画拡大事業である。

# 介護保険の負担軽減とサービスの充実強化を

## 町長 保険料の軽減や充実したサービスの提供に取り組む



伊藤 千作 議員

**伊藤**

政府は先の国会で医療介護総合法の可決を強行した。この法律は、多くの高齢者を介護サービスの対象から除外し、入院患者の追い出しをさらに強行するなど、公的介護医療保障を土台から崩す大改悪法である。

このままでは、全国各地で介護サービスの強引な打ち切りが横行しかねない。2015年度から特養老人ホームに入居できるのは原則要介護3以上になる。在宅でも、施設でも、利用料、自己負担が大幅に引き上げられ、2015年8月から2割負担が導入されるようとしている。

このような状況の中、今後は、特養の抜本的な増設、入院患者の追い出し中止、在宅・居住系サービスを含めた低所得者への利用料の

減免、虐待や孤立など処遇困難を救済する措置、福祉の再建などの対策が必要である。

具体的には、新総合事業の実施を最大2年間延長する、要介護認定を希望する人全てに認定を受けさせる、介護保険料の高騰を抑えるための軽減策として財政調整基金から繰り入れを行うなどの対策を実施すべ

きである。

**町長**

要支援者への介護予防、訪問介護、通所介護サービスは、制度改正により、町の地域支援事業としてサービスを提供することになる。当町は準備期を考慮して、平成29年度に移行する。現在利用しているサービスは、内容の充実に向けて取り組んでいく。



いきいき元気塾転倒防止教室で介護予防

現在策定中の第6期介護保険事業計画では、保険料の高騰は避けられない状況である。保険料の軽減策として、標準所得段階を現行の6段階から9段階へ細分化し、低所得者についての保険料の軽減を強化することとしている。

今後、介護保険事業の方針やその内容と保険料の設定等について、より充実した介護サービスが提供されるように取り組んでいく。

### 福祉灯油の実施を

**町長** 県や周辺市町村の動きを見て判断する

**伊藤**

県と市町村は住民の願いに応え、継続して福祉灯油を実施してきた。今年も低所得者層への福祉灯油の実施を。

**町長**

現段階では実施の必要性は薄いと思われるが、今後、県や周辺市町村の動きを見て検討し判断していく。



# 学校施設等の調査を実施

## 教育民生常任委員会 所管事務調査報告

平成26年11月25日に教育民生常任委員会による所管事務調査が行われ、琴丘小学校体育館と琴丘中央公園野球場、八竜中学校を現場視察しました。

### 琴丘小学校体育館要改修箇所

昭和55年3月に建築された当体育館は、平成20年に屋根改修工事、平成22年に耐震改修工事を行っている。しかし現在の状況は内壁、外壁、床も老朽化が著しく照明もよいとはいえない。今後、内外壁の張り替えや窓枠の入れ替え、トイレの改修などを行う計画のようであるが、児童にとつて快適な体育館となるよう学校との連携をはかりながら実施すべきである。



入れ替えが計画されている琴小体育館の窓枠

### ことおか中央公園野球場（スカルパ）要改修箇所

当施設は平成7年7月に建築され、来年度で20年目となる球場である。メインスタンドの雨漏りは応急措置されていたが、ルールの変更や芝の傷みなどにより、球場全体の改

### 八竜中学校体育館床修繕・トイレ改修箇所

修が必要な時期と思われる。改修計画として、スコアボードの改修、内野等の混合土の入れ替え、天然芝・人工芝の張り替え、ダックアウトの外装塗装等があるが、これらの改修について有利な補助金により実施する予定である。

八竜中学校の体育館床の改修工事は、平成26年8月22日に床サンダー掛・ポリウレタン樹脂塗装3回塗り完了した。滑りにくく床面も明るくなり、張り替え同様の仕上がりであった。

また、町内3中学校のトイレ改修工事は平成26年10月31日で完了した。いずれの学校も著しく改善され、生徒にとつて快適なものとなった。

### 付帯意見

ことおか中央公園野球場については、内外からの利用を促進するためには、三種町長杯大学野球大会が毎年開催されることや高速道路インターチェンジに近いという好条件を生かすとともに名入れのスコアボードにすべきである。また今回の視察とは別に、老朽化している山本公民館の今後のありかたについて、早めに委員会を立ち上げるべきである。



床修繕が完了した八竜中体育館

請願

陳情

審査報告

請願 3 件のうち 2 件を採択し 1 件を継続審査、  
陳情 8 件のうち 6 件を採択し 2 件を継続審査と決定しました。

## 請願

件名	請願者氏名	紹介議員	付託委員会	結果
米の需給安定対策に関する請願書	秋田やまもと農業協同組合 代表理事組合長 阿部 隆一	小澤 高道 高橋 満	産業建設 常任委員会	採 択
農協改革に関する請願書	秋田やまもと農業協同組合 代表理事組合長 阿部 隆一	高橋 満	産業建設 常任委員会	採 択
「認定子ども園」設置に関する請願	学校法人 八竜学園 理事長 見上 岳也	後藤栄美子	教育民生 常任委員会	継続審査

## 陳情

件名	陳情者氏名	付託委員会	結果
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	教育民生常任委員会	採 択
介護従事者の処遇改善を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	教育民生常任委員会	採 択
労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 星野 博之	教育民生常任委員会	採 択
介護従事者の処遇改善を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 星野 博之	教育民生常任委員会	採 択
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実強化を求める意見書採択に関する陳情	秋田県林活議員連盟 連絡協議会 会長 武田 英文	産業建設常任委員会	採 択
専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について	日本労働組合総連合会 秋田県連合会 会長 東海林 悟 連合秋田能代地域協議会 議長 鎌田 守	教育民生常任委員会	継続審査
集団的自衛権の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等行われぬよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情	能代市平和委員会 代表委員 北川 智彦	総務常任委員会	採 択
「マクロ経済スライド」制の廃止を求める陳情	全日本年金者組合 秋田県本部 能代山本支部 執行委員長 大倉 勇治	教育民生常任委員会	継続審査



# 第2回

# 臨時会

日時：平成26年11月28日(金)

第2回臨時会が11月28日に開催され、報告案件2件が報告され、一般会計の専決処分1件を承認、9議案を原案のとおり可決決定しました。

● 専決処分の報告（物品運搬作業中の物損事故に係る損害賠償に関する件）

報告

● 専決処分の報告（町道管理瑕疵による車両事故に係る損害賠償に関する件）

報告

● 専決処分の承認（平成26年度一般会計補正予算）

原案承認

### 〈主な内容〉

・ 衆議院議員選挙費 …………… 1,382万7千円

● 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

原案可決

● 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部改正

原案可決

● 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

原案可決

● 一般会計予算の補正

原案可決

● 簡易水道事業特別会計予算の補正

原案可決

● 公共下水道事業特別会計予算の補正

原案可決

● 農業集落排水事業特別会計予算の補正

原案可決

● 衛生処理事業特別会計予算の補正

原案可決

● 水道事業会計予算の補正

原案可決

## 議会からの報告

### 選挙公約の掲載について

昨年、三種町議会が開催した町民と議会との懇談会において、「町議会議員選挙が無投票になり、選挙公約を目にすることができなかつたので、公約を町民に知らせるべき」との意見があり、議会としては「広報編集特別委員会に諮る」との対応をしております。

広報編集特別委員会で協議した結果、選挙公約をそのまま議会だよりに掲載するのは、4年後の選挙の事前運動に当たり公職選挙法に抵触する可能性があるかと判断したため、議会としては、議会だよりに掲載しないことにしましたので、ご理解くださいますようお願いいたします。

10月21日・22日、東京都シェーンバツハサポーを会場に第81回町議会広報研修会が開催され、三種町議会広報編集特別委員会の委員4人が2日間にわたって研修を受けた。

研修会では、読者が読みたくなる「議会だより」を目指して、分かりやすい紙面をつくるための基礎知識を習得した。



研修を受講している広報委員

町民が読みたくなる

議会だよりを目指して

町議会広報研修会報告

# 三種の星

## 優良PTA

### 文部科学大臣表彰の受賞



下岩川小学校PTA会長

石井 忍

ぺったんこ、ぺったんこ、子供たちがふらつきながら杵で餅をつく姿が集まった父兄、祖母、地域の方々から大きな歓声と笑みがこぼれます。子供たちが春に裸足で田んぼに入り苗の一つひとつ手植え、秋に鎌で収穫したもち米を使い、先生や家族、地域の方々と一緒に餅つきを行い、つき立ての餅をみんなでおいしく食べる。これが毎年恒例の下岩川小学校ふれあいPTA餅つきの様子です。餅つきの前には学習発表会が行われ、子供たちがステージ上で元気いっぱい堂々と日頃の学習成果を発表し、日々成長している子供たちの姿を見ることが出来ます。下岩川小学校PTAの特徴がよく表れた行事だと思えます。

下岩川小学校PTAは、昭和



ふれあいPTA餅つき



文部科学大臣表彰受賞記念祝賀会

23年に設立して以来、諸先輩方の御功績の積み上げ、地域の方々の御協力により、学校との太い絆が築かれ、学校、家庭、地域が役割と責任を果たし下岩川地域が一つの家族のように温かく大きな力で子供たちを支えてくれています。下岩川小学校PTAを象徴するものは「地域力」です。

この地域ぐるみの活動が、この度の栄誉ある優良PTA文部科学大臣表彰の受賞となりました。表彰式は、公益社団法人日本PTA全国協議会の主催によ

り、昭和30年から続く歴史深いもので全国から個人、団体の受賞者約400名が集まり東京都ホテルニューオータニで盛大に行われました。

今回の受賞を励みに、子供たちが伸び伸びと地域の方々とのふれあい、そして地域を愛し、心豊かに大きく成長できるように引き続き活動していきたいと思えます。

関係者の皆様、本当にありがとうございました。今後とも御指導、御協力をよろしくお願いいたします。

## 編集後記

希望に満ちた新年を迎えられたことと思います。

昨年12月から降雪が続き除雪作業でお疲れのことと思いますが、雪が多いのは豊作への道しるべと願いたいものです。

さて、早いもので我が三種町も今年で合併10年を迎えます。

昨年は、シェア9割を占める国産ジュンサイのトップ産地である当町が、食の安全を確保する認証制度であるGAP普及大賞を受賞しました。また、下岩川小学校の優良PTA文部科学大臣表彰の受賞、そしてWBCスーパーフェザー級世界チャンピオンの三浦隆司選手の3度目のタイトル防衛など、全国に三種町の名をとどろかせております。

町民のみなさまのご協力をいただきながら、輝く三種町まちづくりにまい進していきたいと思えます。

2年間広報を担当し、コンパクトで分かりやすい広報をお届けできればと思っております。

鈴木 一幸 記

